

ジェイシフ

JSHIF



夏

2011.8. NO.56

第23回通常総会・第65回理事会 — 2

平成22年度第1回情報交換会 — 4

第6回シンポジウム/第3回地域・スポーツ振興賞 — 5

「医療生活産業の品質認証」調査 — 6

会員紹介 — 7

社団法人 スポーツ健康産業団体連合会

準備が整い次第、公益社団法人へ移行認定申請の運び

スポーツ健康産業団体連合会

第23回通常総会

2011年6月14日(火)、東京都千代田区の如水会館において第23回通常総会が開催された。代理出席および委任状出席を含めた29名が出席。

議長に選出された斎藤会長が挨拶を述べ、東日本大震災からの一日も早い復興を希望するとともに、スポーツ健康産業の動向についても触れた。さらに、理事会・総会の承認を得た上で、申請の準備が整い次第、内閣府あてに公益社団法人へ移行認定申請をする予定であると説明した。

議事録署名人の選出の後、議事に入り、平成22年度の事業報告、平成23年度の事業計画、新任理事・監事及び退



任理事・監事、役員改選の件、平成22年度決算報告、平成23年度収支予算書、公益社団法人へ移行申請などの案件が審議され、すべて拍手をもって可決承認された。

役員名簿(平成23年6月14日現在)

役員名	氏名	勤務	団体・会社名	役職
名誉副会長	水野 正人	非常勤	ミズノ株式会社	代表取締役会長
			社団法人日本ゴルフ用品協会	会長
名誉副会長	中野 啓二郎	非常勤	株式会社イースタンスポーツ	代表取締役会長
会長	斎藤 敏一	非常勤	株式会社ルネサンス	代表取締役会長
副会長	岩井 大輔	非常勤	株式会社エバニュー	代表取締役社長
副会長	池田 朝彦	非常勤	社団法人日本ボウリング場協会	顧問
副会長	林 有厚	非常勤	株式会社東京ドーム	代表取締役会長
専務理事	板垣 勝男	常勤	社団法人スポーツ健康産業団体連合会	専務理事
理事	浅井 光昭	非常勤	公益社団法人日本パブリックゴルフ協会	会長
理事	石橋 栄司	非常勤	ぴあ株式会社	エグゼクティブマネジャー
理事	石原 悟	非常勤	社団法人日本フィットネス産業協会	理事
理事	大石 順一	非常勤	社団法人日本ゴルフ場事業協会	専務理事
理事	尾木 徹	非常勤	社団法人日本音楽事業者協会	会長
理事	小澤 壯六	非常勤	財団法人健康・体力づくり事業財団	理事長
理事	加藤 誠	非常勤	株式会社ジェイティービー	地域交流ビジネス統括部長
理事	香中 峰秋	非常勤	株式会社博報堂	ソーシャルアカウント局局长代理
理事	雑賀 昇	非常勤	社団法人日本テニス事業協会	会長
理事	重森 仁	非常勤	日本スポーツ用品協同組合連合会	理事長
理事	田中 喜代次	非常勤	筑波大学	教授
理事	丁野 朗	非常勤	社団法人日本観光振興協会	常務理事・総合研究所長
理事	中島 順	非常勤	株式会社電通	ソーシャル・ソリューション局局长次長
理事	野川 春夫	非常勤	順天堂大学	スポーツ健康科学部長
理事	原田 宗彦	非常勤	早稲田大学	教授
理事	平野 哲行	非常勤	株式会社平野デザイン設計	代表取締役社長
理事	三ッ谷 洋子	非常勤	株式会社スポーツ21 エンタープライズ	代表取締役
理事	山本 為信	非常勤	山本光学株式会社	代表取締役社長
理事	米山 稔	非常勤	ヨネックス株式会社	ファウンダー名誉会長
理事	和田 清美	非常勤	株式会社アシックス	取締役会長
			社団法人日本スポーツ用品工業協会	会長
理事	渡邊 光康	非常勤	財団法人大崎企業スポーツ事業研究助成財団	理事
監事	鎌田 章男	非常勤	株式会社朝日広告社	第一営業本部営業第一局局长
監事	小坂 勉	非常勤	千葉・小坂会計事務所	税理士

(敬称略・50音順)

第23回通常総会・第65回理事会

第65回理事会

同日、総会に先立って第65回理事会が開催された。出席は本人出席17名、代理出席6名、委任状出席12名、計35名。オブザーバー出席として経済産業省商務情報政策局サービス産業課より企画官中内重則氏が参加した。

選出された斎藤議長の挨拶、中内重則氏の来賓挨拶に続き、議事録署名人選出、東日本大震災で亡くなられた大勢の方々に対して心からご冥福をお祈りするため黙祷を行った。その後、シンポジウム、情報交換会の開催、スポーツ&レジャーフェスティバル、タスクフォース小委員会取りまとめについてなど平成22年度事業の活動について報告がなされ、全員異議なく拍手をもって可決承認された。引



き続き審議事項に入り、平成22年度決算報告、平成23年度事業計画案、各部会活動案や公益法人制度改革への対応等が諮られ、すべての議事が可決承認され、第65回理事会は終了した。

平成22年度事業活動概要

■事業部会

「第5回シンポジウム」「第6回シンポジウム」「第1回情報交換会」「第3回地域・スポーツ振興賞」

■地域スポーツ振興部会

「2010スポーツ&レジャーフェスティバル(財団法人JKA補助事業)」

■広報宣伝・調査部会

「医療生活産業の品質認証」調査。コンソーシアムを組成し「医療生活産業の品質認証調査推進委員会」による調査報告書を作成。機関誌JSHIFの発行。

■その他の事業

「生涯スポーツ・体力づくり全国会議2011」他

平成23年度事業計画

■事業部会

「情報交換会」「シンポジウム」「地域・スポーツ振興賞」

■イベント推進部会

「スポーツ健康産業団体、主要関連企業、関係者との交流」他

■地域スポーツ振興部会

「市民生涯スポーツ大祭(財団法人JKA補助事業)」

■広報宣伝・調査部会

「機関誌JSHIF」「調査研究」

■その他の事業

「アドバイザースタッフ」「生涯スポーツ・体力づくり全国会議2012」他

公益法人制度改革への対応について

申請の準備が整い次第、認定法に基づいて内閣総理大臣あてに公益社団法人の移行認定申請をすることとしたい。申請の理由は次の通り

- ・スポ団連の事業内容は、認定法で規定している公益目的事業に適合していると考えられる。
- ・スポ団連は現在、経済産業省所管の特例民法法人となっている。国所管の特例民法法人は、移行期間の5年間(平成25年11月30日まで)以内に内閣総理大臣あてに公益社団法人又は一般社団法人へ移行申請して、公益社団法人の認定又は一般社団法人の認可を得る必要がある。

楽しく健康づくり

スポーツと健康とビジネス

「スポーツの健康づくりにおける役割」をテーマにかかげた異業種懇談会が1月27日(木)に開催され、長時間にわたる活発な意見の発表や意見交換が行われた(抜粋要旨)。

■コーディネーター

古屋 武範氏 (株式会社クラブビジネスジャパン 代表取締役)

■パネリスト

大石 順一氏 (株式会社八王子ゴルフ倶楽部 総支配人)

栗山 雅則氏 (株式会社リパティヒル 代表取締役)

中村 良明氏 (株式会社文教センター 代表取締役社長)

山本 幸治氏 (株式会社イースタンスポーツ 専属プロボウラー)



古屋 異業種の中のアイデアを自分の業界の課題と掛け合わせて、何かソリューションあるいはアイデアを頭の中で思い描くような進め方ができたらと思っています。

大石 平成4年は全国で約2千カ所のゴルフ場がございました。平成21年には2,445のゴルフ場。ただし1ゴルフ場当たりの減少率からいうと60%売上げが減少しています。またゴルファーの高齢化も問題です。

栗山 現状では、テニスクラブが、だいぶ減ってきました。原因は固定資産税。2000年～2005年くらいにかけジュニアは増えましたが、テニススクールでは、ジュニアは大人と比べますと単価が安いものですから、そこで利益をたくさん上げることがなかなか難しくなっていました。またジュニアのほうも景気の低迷がございまして、テニススクールの生徒は減少傾向になっております。

中村 プール、ジム、スタジオという三種の神器に対して、今はいろいろ付帯的なものを付けた形がフィットネスクラブの基本的な施設・設備です。収益構造としては、定額の月会費が主たる収益源。利用の都度支払う利用料というものは、なくはないですが、ほとんど収益源ではないですね。

また日本、アメリカ、イギリスの3つの国の状況ですが、この10年間で日本は1.4倍程度しかマーケットが伸びていません。アメリカは、ほぼ2倍。イギリスは4.7倍で、各国が非常に伸ばしているのに対して、日本は伸び悩んでいるという現状にあります。

山本 プロボウラーの山本です。ボウリングはスポーツの中で一番の参加人口を誇っているのですが、参加者の活動回数が非常に問題で、4.6回。皆さん、ファミリーで一緒に行かれる方は年に1回くらいですけど、スポーツとしてボウリングをされている方は週に1回行きます。それで平均的に4.6回になっているということです。

最近ちょっと落ち込みが激しいです。プロスポーツの賞金額を例にしますと、2010年、男子で一番稼いだのは2,100万円。

ただしこれはパーフェクト、300点を出したら1,000万円という報酬がかけられていて、その1,000万円を獲得しての賞金です。

古屋 ありがとうございます。やはり、どの業界も結構苦労されているなというのが分かりました。では、それぞれご自身がビジネスとして関わられているスポーツが、生活者の方々の健康づくりにどれくらい役に立っているとお感じになられているのかという部分をお話したいです。

大石 60才くらいで脳梗塞になられた方ですが、その時のハンディキャップが11。今、5年たって、ハンディキャップは16に落ちていますけれど、ちゃんと180ヤードくらいドライバーで打てるようになってきている。一回一回の負荷運動量は割に低いですけども、一所懸命に持続することによって、脳梗塞とか、そういう障害を克服できるんですね。

栗山 テニスを続ければもちろん健康にはなります。しかし健康になるというイメージが業界的には確立できていないと思います。60代でも、70代でも、あまり運動をしない方たちと比べると10歳くらいは若い。ただ残念ながら、60歳から、あるいは70歳からテニスを始めたらどうなのだろう。道具を使うスポーツなのでなかなか難しいとは思いますが。

中村 フィットネスは健康づくりに役立っていなければ存在価値がないという立ち位置なのですが、ただ、その中で、フィットネスに通った成果、お客様が求めている成果に本当にたどり着けているのかどうか。今、いろいろ業界内では議論されているという状況です。

山本 97歳で亡くなられた女性の方ですが、そのおばあちゃんは、週に2回ボウリング場に通って、3ゲームずつ投げられていました。そのボウリング場が閉鎖になり、閉鎖して2、3カ月後に亡くなられました。「100点以上出たときは、嬉しくて、その夜、寝られないよ」と言われていましたね。

古屋 ありがとうございます。

(以降、「健康マーケティング」アプローチの実態、啓発的な働きかけの事例などについて活発な意見交換が続いた)

第6回シンポジウム

新成長戦略としての医療・介護周辺サービス産業の市場創出について

3月3日（木）、東京都千代田区の如水会館にて第6回シンポジウムを開催した。基調講演は経済産業省商務情報政策局サービス産業課長 藤本康二氏によって行われた。演題は「新成長戦略としての医療・介護周辺サービスの果たす役割と今後の展開について」。パネルディスカッションでは「スポーツを通じた地域振興への貢献」をテーマに活発な意見交換がなされた。

また第3回地域・スポーツ振興賞の授賞式も同日開催され、最優秀賞など7団体が表彰された。



藤本康二氏による基調講演

パネルディスカッション

パネルディスカッションではコーディネーターとして日本商工会議所 地域振興担当部長 鈴木真人氏。また第3回地域・スポーツ振興賞の最優秀賞および優秀賞授賞の受賞者がパネリストとして参加した。



パネルディスカッションの様相

■コーディネーター

鈴木 真人氏（日本商工会議所地域振興担当部長）

■パネリスト

●八幡川リバーマラソン大会委員会

橋本 哲夫氏（同 大会会長）

古川 孝義氏（同 大会委員会 委員長）

●蒲都市観光協会

遠山 憲章氏（同 専務理事）

●(株)リンクスポーツエンターテインメント

山谷 拓志氏（同 代表取締役社長）

第3回 地域・スポーツ振興賞

スポーツを通じて地域活性化へ貢献した団体・グループを顕彰する「地域・スポーツ振興賞」の第3回授賞式が開催された。応募総数21件の中から、当連合会の選考委員会で慎重・厳正に審議し、最優秀賞1点、優秀賞2点、佳作4点が決定した。



八幡川リバーマラソンが最優秀賞を受賞

最優秀賞(経済産業省商務情報政策局長賞)

●八幡川リバーマラソン大会

八幡川リバーマラソン大会委員会(広島県広島市)

優秀賞(日本商工会議所 奨励賞)

●「ヘルスツーリズム」の取組みによる

観光宿泊客のアップを目指して!!

蒲都市観光協会(愛知県蒲都市)

優秀賞(社団法人スポーツ健康産業団体連合会 会長賞)

●日本一のチームを通じた地域活性化(リンク栃木ブレックス)

(株)リンクスポーツエンターテインメント(栃木県宇都宮市)

佳作

○やさしい共生社会を体験する「ピポ・ユニバーサル駅伝」
NPO法人コミュニケーション・スクエア21(東京都新宿区)

○奥びわ湖スポーツクラブ

奥びわ湖スポーツクラブ実行委員会(滋賀県長浜市)

○サンポート高松トライアスロン大会

～瀬戸内国際体育祭～

サンポート高松トライアスロン大会実行委員会(香川県高松市)

○広島東洋カーブ・

プロ野球ウエスタンリーグ公式戦開催による地域活性化

総合型地域スポーツクラブどんぐりクラブ屋台村

(広島県山県郡北広島町)



「医療生活産業の品質認証」調査

—平成25年度のスタートに向けて事例・実態調査などを実施—

「医療生活産業」品質認証調査コンソーシアム(代表団体：社団法人 スポーツ健康産業団体連合会、参加団体：一般社団法人 日本総合健診医学会、学校法人 立命館)は、平成22年度を認証システム構築のための検討時期と位置づけ、医療生活産業の現状を把握、サービス品質可視化と認証機能のあり方を考察するために関連団体調査、認証先進事例調査、人的資格調査などの実態調査を行った。

「医療生活産業」とは

今後の日本では医療・介護機関と周辺産業が連携した活動の振興が必用となる。こうした密接な連携による疾病予防や疾病管理、介護予防、リハビリ、慢性期生活支援等の実現をサポートするサービス産業を「医療生活産業」と呼ぶ。

医療生活産業の創出・振興は、医療・介護制度の健全な運営を通じて国民が安心して暮らせる社会保障制度を整備しつつ、日本の経済成長を担う大きな柱になる可能性が期待できる。

本年度の事業としては、「医療生活産業」における商品・サービスの品質の可視化、品質基準の策定、品質の認証を行うために、医療生活産業に必要な品質の定義を明らかにし、品質認証システムモデルの構築に関する調査・研究を行った。

実態調査では、定量的にマーケットや関係者の意向を把握するのではなく、関係者からの直接意見を何う形で事業の可能性やあり方を把握した。そして、仮説のリアリティチェックに基づき、品質認証の要件定義を設定するとともに、

実現可能性の高い認証機能の在り方について研究し、報告書として取りまとめた。

調査・研究を踏まえて、次年度以降、フィージビリティスタディ、モデル事業の計画策定など、具体的な準備を進める。

この「医療生活産業」の品質認証調査は平成25年度に「医療生活産業における品質認証事業」をスタートさせることを目的としており、平成22年度から24年度にかけては下図の事業を実施予定。



弊社は大正13年(1924年)に創業、昭和18年(1943年)に現在の社名「朝日広告社」に改名し、昭和27年(1952年)の株式会社への改組を経て、おかげさまで本年は創業87年を迎えております。

これまで新聞、テレビからフリーペーパーや屋外広告等々あらゆる広告媒体を扱わせていただく総合広告会社として事業を行って参りましたが、ITの社会化に伴ってコミュニケーションのあり方が大きく変わっております現在では、「お客様のコミュニケーションを総合的にご支援する会社」として多くのお客様のご愛顧を頂いております。その名の通り朝日新聞社グループとの連携が得意技であるばかりでなく、90年代半ばより精力的に取り組んできたインターネット関連コミュニケーションでの商品力・提案力も弊社の強みであると自負しております。また、それらを基盤としながらインターネットや新聞・テレビ等を使って生活者からながしかの反応を得る、いわゆる「ダイレクトレスポンス獲得」のためのご支援業務も、近年お客様からご好評をいただいております。

以前に比べてスポーツの楽しみ方が多様化しているといわれていますが、それは情報機器の多様化・ライフスタイルの多様化・コミュニティの多様化等と表裏一体であり、

そこに行き交う情報の伝達のされ方・一人ひとりの情報の扱い方が大きく変化していることと決して無関係ではありません。弊社では、そのような「いま」にあってお客様一社一社に最適の「情報の伝え方・扱げ方」をご提案させていただいております。また、支社・支局・地方グループ会社による日本全国でのネットワーク、そして日本で唯一弊社だけが加盟する、広告会社の国際間パートナーシップ・WPI (Worldwide Partners inc) による特にアジア極東地域での強力なネットワークを以て皆様の事業を幅広くご支援させていただきます。

スポーツの領域では、当協会で開催するスポーツ&レジャーフェスティバルのほか毎年国内で行われるテニスの国際大会の運営・管理などにも携わり、スポーツイベントを通じて生活者の皆様に感動というメッセージを届けるお手伝いに参画させていただいております。

今後とも特別会員として当協会の末席に加えさせていただきますが、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

■所在地：〒104-8313 東京都中央区銀座7-16-12 G-7ビル

■電話(総務部)：03-3547-5400

■ホームページ：http://www.asakonet.co.jp/

会員紹介

会員の皆様の事業内容をご紹介します

株式会社イースタンスポーツ

全国に10ヶ所(盛岡・桐生・足利・所沢・高尾・立川・本八幡・富津・折尾・博多)の直営ボウリング場「スターレーン」を展開する株式会社イースタンスポーツは、東部物産貿易株式会社の子会社として1963年に創立され、第1次ボウリングブーム以来、着実な店舗計画と堅実経営で、業界のリーディングカンパニーとしてボウリング人気の一端を支えてきました。

本業であるボウリング場経営以外でも、プロボウリング世界一決定戦「JAPANカップ」を1985年より25年間にわたって主管・運営。世界中のボウリングファンからの熱い視線が注がれるビッグトーナメントは、2005年から計4回にわたり東京体育館に特設レーンを敷いて決勝戦を実施し、毎回約3000人のギャラリーを集めました。加えて、九州最大のプロアマ大会「KIRINカップ」や若手プロの育成を目的にした「スターレーンカップ新人戦」といった数々のビッグイベントを成功に導いてきました。また2012年2月に全世界の男女トップボウラーが一堂に会して開催される第1回DHCインターナショナルチャンピオンシップの会場が、博多スターレーンに決定。今や業界の中では、“老舗”



STARLANES

の名門センターとして高い評価をいただいております。

当社の経営理念はずばり、「地域社会からの支持・共感なくして存続なし」。ボウリングをスポーツとして真剣にとらえ、ボウリングの普及を通じて地域のスポーツ振興に邁進しています。現在、最も力を入れている施策が固定ボウラーの育成。地域住民の生活に定期的なボウリングをご提案することで、肉体的・精神的・社会的それぞれの面での健康作り、ひいては「QOL (Quality Of Life)」向上のお手伝いをさせていただいております。

■所在地：〒151-0053 東京都渋谷区代々木2丁目11番15号 新宿東京海上日動ビル9階

■電話：03-3379-7333

■ホームページ：http://www.starlanes.co.jp/

2011

スポーツ&レジャーフェスティバル

生涯スポーツの普及と定着を目的に、
国民の健康で豊かな生活の実現を目指して、
全国各地で開催しているフェスティバルです



会期 2011年10月22日(土)、23日(日)

会場 熊本県益城町 グランメッセ熊本

主催 ◆スポーツ&レジャーフェスティバル運営委員会
(社団法人スポーツ健康産業団体連合会・熊本朝日放送)

後援 ◆経済産業省・文部科学省 (予定)

協力 ◆日本女子柔道倶楽部 (予定)



JSHIF2011.8.No.56 (夏号)

発行 **社団法人スポーツ健康産業団体連合会**
Japan Sports Health Industries Federation
 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町3-6 能楽書林ビル6階
 Nogakushorin Bldg 6F,3-6 Kandajinbo-cho,Chiyoda-ku Tokyo 101-0051 Japan
 TEL03(5276)0141 FAX03(5276)0288
 ホームページアドレス <http://www.jsif.or.jp/>

発行日 2011年8月3日

発行責任者 広報宣伝・調査部会 部会長 池田朝彦

編集協力 株式会社 創ファクトリー



地下鉄九段下駅
 東西線・半蔵門線・新宿線
 =A-5番出口
 地下鉄神保町駅
 半蔵門線・三田線・新宿線
 =A-2番出口
 ※駐車場はありませんので、
 電車をご利用ください。